

# WRAYMER LPL10

## 偏光LEDリングライト LPL10

### 取扱説明書



このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございました。  
本製品の性能を十分に発揮させるためおよび安全確保のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
製品使用時には、常にお手元に置いていただき、お読みになったあとも大切に保管してください。

## 1. 特徴

2枚の偏光フィルタ(ポラライザ、アナライザ)を装備した高輝度白色LEDリングライトです。

顕微鏡に装着するだけで落射光による偏光観察が可能になります。

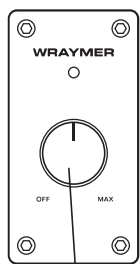
ハレーション(白とび)を大幅に抑えることができるので、金属表面、電子基板、光沢面上の印字、ホコリなどの異物の検出など、通常の照明では困難であった試料の検査や写真撮影が容易になります。

肉眼での観察はもちろん、特に像の明瞭さを要求されるカメラ撮影等の際に大きな力を発揮します。

無段階の光量調整機構があり、観察に適した光量に調節することができます。

## 2. 各部の名称

### 電源ユニット前面



光量調整ダイヤル  
(電源スイッチ兼用)

### 電源ユニット背面

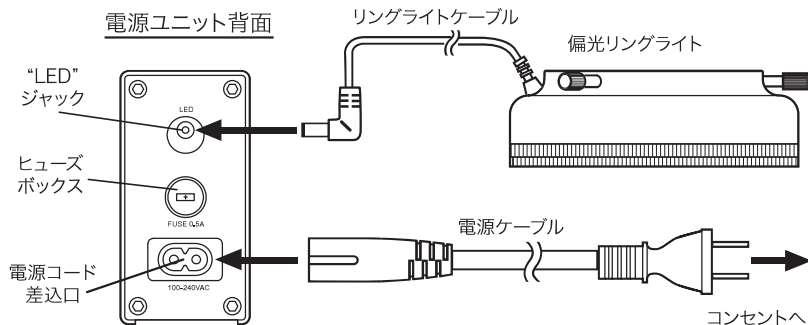


図 1

## 3. 照明部の構成

ポラライザはあらかじめリングライト下部に装着されています。図2のようにアナライザをリングライト凹部(アナライザと同直径)にはめ込んでご使用ください。



図 2

#### 4. 使用方法

1. 取り付けネジでリングライトをしっかりと顕微鏡に固定してください。
2. 電源ユニットの光量調整ダイヤルを反時計回りに回し“OFF”の位置にしてください。
3. 図1のように電源ユニットの“LED”ジャックにリングライトケーブルを接続してください。
4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
5. 電源スイッチを“ON”にし、光量調整ダイヤルを時計回りにまわして適正な光量で使用してください。
6. ポラライザを回転させることで、試料に最適な偏光を得ることができます。

#### ヒューズの交換

感電ややけどのおそれがあるため、ヒューズを交換する前にはスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、ヒューズが完全に冷えるまで待ってください。ヒューズボックスは電源ユニット側面にあります。ヒューズボックスのネジを外すとヒューズを交換することができます。

#### 5. 主な仕様

LED	78灯高輝度白色LED
外径	84mm
対応鏡筒外径	約48~62mm
推奨作業距離	60~120mm
光量調整	無段階
色温度	6400K
電源入力	AC100-240V/50-60Hz
消費電力	7W
ケーブル長	リングライトケーブル 約0.9m 電源ユニットケーブル 約1.5m
重量	電源ユニット(電源ケーブル含む) 約0.6 kg リングライト (偏光フィルタを含む) 約 0.2 kg